

◆ 第8回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<p>1 開会 2 市長あいさつ 3 事務局からの説明     (1) 「公共空間再編整備計画」、「都市空間デザインガイドライン」策定の背景及び構成     (2) 両計画に基づくまちづくりの進め方     (3) 本日の検討・確認事項     (4) 今後のスケジュール 4 意見交換 5 閉会</p> 
<p>委員の主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 駅周辺と仲見世商店街・中央公園とのつながりが生まれ、自動車に乗っている人にもまちづくりの動きがわかるようになると良い。</li><li>● まちなかデザイン会議等による市民啓発はもちろん大切であるが、積極的に情報発信も行い、市民がまちづくりに参画するハードルが下がると良い。</li><li>● 充実した計画であるので、これを市民に向けてしっかりとPRするためにも、まちづくりのキャッチフレーズのようなものを掲げ、それを目標にして、みんなで進めていけると良いのではないかと。</li><li>● 計画の策定段階だけではなく、計画を実践する段階においても市民を巻き込んでいくためのアプローチを考える必要がある。沼津市は市民参加の気運が高い自治体であると思うので、そのような方々と協力しながら、具体の進め方の部分を今後練り上げてほしい。</li><li>● 市民への浸透の観点から、南口駅前広場の暫定整備に向けた社会実験が、可能な限り早期に実施できると良い。</li><li>● 駅前広場に求められる機能については、社会実験の結果も踏まえ、柔軟に見直しを行いながら、検討を深めてほしい。</li><li>● 近年、コミュニティが高齢化し、様々なことができなくなっている状況である。この計画が早く実現し、コミュニティの活性化や人口の増加につながることを期待している。</li><li>● まちづくりの成果の可視化・わかりやすさは非常に重要である。計画に掲載されているイメージパース等を積極的に活用し、市民との対話を進めてほしい。</li><li>● 別途検討しているスマートシティ（X-tech NUMAZU）の取組と連携しながら、進めていけると良い。</li></ul> <p style="text-align: right;">以上</p>